



身近で分かり易い県政、よりよい千葉県を目指して

県政報告

1

## 県議会の開催(6月5日~7月2日)

今議会では、①知事選を受けて政策的判断を要する経費や新規事業等を中心とした**1066億9600万円の補正予算**、②**職員の給与等の臨時特例**に関する条例などが承認・可決されました。

### i ①補正予算について

**災害時の緊急物資の備蓄について整備事業**(2億5000万円:東京湾北部地震を想定した約146万人の避難者を基に市町村が備蓄すべき量の10%相当を備蓄。品目では高齢者や女性、乳幼児等に配慮した内容)、**社会福祉施設や医療施設等の耐震化への助成事業**(社会福祉施設:6億3347万円、医療施設:36億4868万円)、**コンビニ防犯ボックス設置等モデル事業、私立学校経常費補助事業**(国の標準

単価に上乗せする県単独の補助単価を拡充。高等学校では15000円、幼稚園では2400円)、**中小企業振興資金**(300億円。これにより当初予算と合わせて融資枠は5700億円に拡大)等となっています。

### ii ②給与減額措置について

国家公務員の給与減額支給措置を受け、被災県である千葉県も、震災からの復旧・復興及び日本再生のため、**職員給与の平均7.8%の減額措置**を実施します。

また、この措置に併せて、**県議会議員の歳費についても10%の減額措置**を実施します。

県政報告

2

## 千葉県がん対策推進条例成立後の動き ~補正予算&患者必携本の発行~

2月議会で制定された「千葉県がん対策推進条例」に続いて、3月には県のがん対策推進計画(平成25年度から平成29年度までの5か年)が策定されました。

### i 補正予算

今議会では、県のがん対策の拠点として重要な役割を担っている**千葉県がんセンターの施設整備事業の補正予算**が組まれました。開業以来40年が経過し、老朽化や一部病棟の耐震不足といった課題を抱えている**当施設の再整備に向けて、基本設計や地盤調査等が実施**されます。

### ii 患者必携本の発行

昨年12月議会で、関が、がん情報提供のあり方で質問したテーマでもありますが、3月に「**千葉県がんサポートブック**」が発行されました。

この本は、**がんと診断された時や治療を受ける際に役立つ情報**を

**まとめたもの**で、県内の相談窓口や医療費・生活費に対する支援制度等が掲載されています。

この本と、国立がん研究センターがん対策情報センター発行の「**がんになったら手にとるガイド**」(がんの基礎知識、療養に役立つヒント等がまとめられている)、「**わたしの療養手帳**」(情報を整理するのに役立つ手帳)を併せて活用していただきたいです。



「千葉県がんサポートブック」

県政報告

3

## 総務防災常任委員会 ~副委員長に就任~

今議会の最終日、所属委員会の変更が行われ、関は、文教常任委員会から総務防災常任委員会に所属することとなり、副委員長を任せていただくことになりました。総務防災常任委員会の所管事項は、「県の組織及び職員、議会及び県の行政一般、県の予算・税その他財務、市町村その他公共団体の行政一般、文書、私学、消防及び防災、会計指導、出納検査、県議会、選挙、監査に関する事、並びに他の常任委員会の所管に属しないこと。」となっています。

防災関係では、現在県は、**県内に7つの支援ゾーンを設定した防災支援ネットワーク**作りや、**防災基本条例の制定**に向けた取組を進めています。

災害から県民を守る役割を県がきちんと果たせるよう、副委員長の職務に努めてまいります。

### 豆知識①

千葉県議会には8つの常任委員会があり、各議員は一つに所属します。委員会は、その部門に属する事務に関する調査を行い、議案、請願等を専門的・能率的に審査します。



4

いじめ・体罰の根絶に向けた決議 ～PT事務局長の視点から～

関は、自民党会派内設置の「いじめ問題対策プロジェクトチーム」の事務局長を務めさせていただいておりますが、今議会では、「いじめ・体罰の根絶に向けた決議」(発議案第3号)が全会一致で可決されました。

i 決議について

大津市の中学生によるいじめを苦にした自殺事件、大阪市の高校生による体罰を苦にした自殺事件など、子どもが自ら命を絶つという痛ましい事件が後を絶ちません。

千葉県では、これまでもいじめや体罰の防止に向けた取組を進めてきましたが、平成24年度の小・中・高・特別支援学校のいじめの認知件数は4月から9月までの半年間だけで1万5420件、平成24年度の小・中・高・特別支援学校の体罰の発生件数は91件と、多い状況です。

また、最近では、館山市において、いじめのアンケート調査結果の一覧表に原本アンケートからの転記ミスが発生したケースや、茂原市において、体罰により適応障害となってしまった生徒が民事裁判に至ったというケースも発生しています。

こういった状況を踏まえ、決議は、県議会として、「いじめ・体罰の根絶を目指し、県民の先頭に立って、いじめや体罰の防止と、発生した場合における迅速かつ適切な対応策の構築に取り組むことをここに宣言するとともに、子どもたちに関わる全ての人々に対し、更なる積極的な取り組みを推進するよう要請する。」内容となっています。

ii 法律の制定を受けて

先日、国会では「いじめ防止対策推進法」が成立しました。

この法律では、12条では、努力義務ではありますが、県で「地方いじめ防止基本方針」を定めることや、14条では、市町村に加え県も「いじめ問題対策連絡協議会」の設置できるなど、県として積極的な姿勢を打ち出すことが可能な内容になっているといえます。

いじめ対策の条例を制定する自治体が増えていますが、**都道府県レベルでの制定はまだありません。**

理由として、教育行政を巡る複雑な所管といった課題等があると考えますが、この法律の制定を受け、プロジェクトチームは、県独自の条例制定を視野に入れた活動を加速していきます。



「プロジェクトチームによる大津市の視察」

豆知識②

直近の県政に対する世論調査(第45回)

『豊かな心、確かな学力、健やかな体を持った  
明るく元気な子どもたちが育っているか?』との質問

- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」・・・24.8%
- 「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」・・・27.3%
- 「どちらともいえない」・・・30.3%

→子育て・教育環境に不安を持っている人の割合は多い

5

文教常任委員会 ～関の質問～

i 平成26年秋に第2回「ちばアクアラインマラソン」の開催が決定

昨年10月に開催された第1回大会は、**沿道応援者が約31万人**、県内の**経済波及効果が約15億円**と大盛況に終わりました。反省点を含む大会の検証結果を受け、県民の健康増進・県の魅力発信に多大な貢献をする本大会の2回目の開催に向け臨んでいきます。

ii 県立学校での死亡事故

今年5月、茂原の県立高校で、授業中に転倒したサッカーゴールの下敷きになり生徒が亡くなる事故が発生しました。同校では昨年もサッカーゴールの転倒によって生徒が怪我をする事故が発生していたため、転倒防止策を講じていましたが、部活等でゴールの移動を頻繁に行っていた中で、対策がおろそかになっていというものでした。

このような悲しい事故が二度と発生しないよう、再発防止と安全管理の徹底を要望しました。

iii いじめのアンケート調査結果表への記載ミス

平成20年9月に館山市の中学生が自殺をした事件で、実施されたい

じめのアンケート調査の結果一覧表への記載漏れが発生しました。原因は、アンケート原本から一覧表に転記する際の見落としでした。

県教育委員会として、館山市教育委員会に対する遺族の方への誠実な対応の指導助言を要望しました。

今回の件は、情報公開請求によってアンケートの原本が開示されたことが発見のきっかけとなっていますが、市教委がアンケート原本の開示を適切に行ったことの意義は大きいものと考えています。



「第1回大会の完走証のメダル」

豆知識③

千葉市緑区は県内で一番年少人口(0才～14才)の割合が多い(16.4%)。  
→緑区は子育ての街!!

※ネット検索

関まさゆき 千葉  
でヒット。



発行所: 関 政幸 政務調査事務所

住 所: 千葉市緑区あすみが丘3-51-10

tel.043-295-1011 fax.043-295-0600

ホームページ:

http://www.seki-masayuki.com

千葉県議会議員 関 政幸 プロフィール

- 1979年生まれ ●土気南中学校卒 ●千葉東高校卒
- 早稲田大学商学部卒 ●弁護士 ●自民党会派所属

★★ 県政や地方議員の役割に対する皆様のご意見やご要望をお聞かせ下さい!! ★★